

# ベラルーシ公開情報取りまとめ

(2月28日～3月6日)

2022年3月21日  
在ベラルーシ大使館

## 【主な出来事】

- ベラルーシ・トルコ両国首脳電話会談(2/28)
- 在ベラルーシ米国大使館、業務を停止(2/28)
- ベラルーシ共和国新憲法、3/15より施行(3/4)

## 【ルカシェンコ大統領動静】

### ●エルドアン・トルコ大統領との電話会談

- ・2/28 夕刻、ルカシェンコ大統領とエルドアン・トルコ大統領の電話会談が行われた。
- ・両国大統領は、ウクライナにおける紛争、2/28 にベラルーシで始まったロシアとウクライナの和平交渉、和平プロセスに協力する意向等につき詳細に協議。
- ・エルドアン・トルコ大統領は、ウクライナにおける紛争解決を全面的に支援する意向を表明。
- ・さらに、西側諸国によるベラルーシ及びロシアに対する制裁の問題が取り上げられた。

(2/28 大統領府)

### ●安全保障会議のメンバー及び政府幹部との会合

大統領は要旨以下を述べた。

- ・幾つかの集団が欧州連合(EU)の領土から(ベラルーシに)押し入り、国民を扇動するためにテロ行為を行っていることを懸念。
- ・またプーチン露大統領に対して、追加の地对空ミサイル S-400 をミンスクから少し西側に配備するために、同ミサイルを供給してもらうよう要請。同様の兵器は、ゴメリ州に配備されている。
- ・ロシア軍に多大な被害が生じているという情報はフェイク。数千の死者が出ているなどと叫ぶ必要はない。我々はそんなものを目にしていない。
- ・ベラルーシの病院で、約 160-170 人の(ロシア軍の)負傷兵が治療を受けた。

(3/1 大統領府、BPN)

### ●スキー大会「ミンスク・シュプール」でのベラルーシの港建設に関する発言

大統領は要旨以下を述べた。

- ・我々は、プーチン露大統領と最後にこの課題(注:バルト海沿岸のロシア領におけるベラルーシ自前の港)について協議した。我々は自分たちの港が必要である。そのため即座に場所が決定された。場所は大変よい。既に自分(ルカシェンコ大統領)への報告がなされた。春にはそこに行く予定である。そこでどのように建設が進められているか視察する。2年間で我々の港が出来るだろう。我々は、その港に自分たちの貨物を運ぶ予定である。

(3/5 大統領府、BPN)

## 【外交】

### ●リトアニア・メディア Delfi は、リトアニアが、ウクライナ戦争におけるロシア及びベラルーシの戦争犯罪を理由に、国際刑事裁判所の検察官に告訴したと報道。

(2/28 BPN、Delfi)

### ●在ベラルーシ米国大使館、業務を停止

- ・米務省は、在ベラルーシ米国大使館の業務を停止するとともに、在ロシア米国大使館の館員のうち、緊急対応に当たらない館員とその家族の自主的な退避を実施。
- ・本措置は、ロシア軍によるウクライナにおける不当かつ正当化できない攻撃による警備及び安全上の問題を踏まえたもの。
- ・米務省は今後も、世界各国の大使館・総領事館の体制を、その業務内容、所在地の安全や健康に関

する状況を踏まえつつ調整する。  
(2/28 在ベラルーシ米国大使館)

### ●英国、対ベラルーシ制裁リストを拡大

英国は、ベラルーシ高官及び組織への制裁を拡大。制裁対象リストには、ベラルーシの軍司令官達、またミンスク市の「インテグラル」(集積回路等の電子部品メーカー)、プレスト州バラノヴィチの「第 588 航空機修理工場」(露 Su、MiG 戦闘機等の近代化改修他を行う工場)の 2 社も含まれている。

(3/1 BPN)

### ●リトアニア外務省、2/27 にベラルーシで実施された憲法改正の国民投票の結果を認めず、無効と見なしている旨表明。

(3/1 リトアニア外務省、BPN)

### ●欧州連合(EU)、ロシアのウクライナ侵攻へのベラルーシの参加を受け、対ベラルーシ制裁を拡大へ

・対ベラルーシ制裁の新パッケージは、タバコ、鉱物性燃料、瀝青、カリウム製品、木材製品、セメント、鉄、鋼、プラスチック製品の生産に使用されている商品の取引に対する追加的な制限を含んでいる。

・また EU は、軍民両用物品及び技術のベラルーシへの提供、また衛生サービスの提供に対する制限も拡大予定。制裁リストは 120 ページに及ぶ。

(3/2 ラジオ・フリー・ヨーロッパ)

### ●マケイ外務大臣とラヴロフ露外務大臣の電話会談

両大臣は、地域情勢及びロシア側により実施されているウクライナでの特別軍事作戦に関連して生じている情勢について協議。

(3/5 外務省)

### ●韓国、ベラルーシに対して「ロシアのウクライナ侵攻に協力した」として制裁を導入。

(3/6 韓国外交部、BPN)

### ●欧州委員会、ロシア及びベラルーシとの国境を越えた協力を停止

ウクライナに対するロシアの軍事侵攻を受け、また EU の全ての制裁を完全に実施するという欧州委員会の決定に従い、同委員会は、欧州近隣諸国インストゥルメントの国境を超えた協力プログラム及びバルト海地域間プログラムにおけるロシア及びその同盟国であるベラルーシとの協力を停止。

(3/4 欧州委員会、BPN)

### 【内政】

### ●当局から民間の団体・一般市民に対する強制捜査・逮捕等

3/1

・人権団体「ヴァスナ(春)」によれば、3/1 夕方までに、2/27～28 に憲法改正の国民投票を終えた様々な都市の投票所付近で、またウクライナ戦争に反対する街頭集会での市民の拘束は 831 件。

3/4

・検察庁は、チハノフスカヤ氏に対して、刑法第 361 条第 3 項(制裁の要求及び国家の安全に害を与えることを目的としたその他の行動)に則り、刑事事件を提起。

・これに先立つ 3/2、チハノフスカヤ氏は、(YouTube 及びテレグラムのメッセンジャーで)2 件のウクライナ戦争に反対するビデオを掲載していた。

3/4

・3/3、情報省が、法律「マスコミについて」第 38 条に違反する過激派資料を多数掲載したことが判明したウクライナの通信社「RBK ウクライナ」及びウクライナのインターネットサイト「Inforesist」へのアクセスを制限することを決定。

3/6

・オーストリアの「ライフアイゼン銀行」の子会社である「プリオリバンク」のセルゲイ・コスチュチェンコ総裁が拘束。公式での拘束理由は、同氏が共同経営者である(複数の)IT 企業のうちの 1 社での税金問題。

・ベラルーシ語新聞「我らが家(ナシャ・ニヴァ)」によれば、銀行業界では、本件は政治的事件であると言わ

れている。

(3/1～6、「我らが家(ナシヤ・ニヴァ)」、人権団体「ヴァスナ(春)」、検察庁、情報省、Zerkalo、BPN)

### ●ベラルーシ共和国新憲法は 3/15 より施行

(1)最終結果

#### 投票総数

・5,359,403 人が投票。全有権者 6,815,635 人の 78.63%。そのうち 2,922,738 人が期日前に、336,159 人が投票所以外の滞在地で、2,100,506 人が投票所で、それぞれ投票。

#### 投票結果

・憲法改正に賛成は 4,440,830 人(投票参加者の 82.86%、有権者全体の 65.15%にそれぞれ相当)。

・憲法改正に反対は 684,946 人(投票参加者の 12.78%に相当)。

・無効票は投票総数の 4.36%。

(2)新憲法は 3/15 より施行

・3/4、ルカシェンコ大統領は憲法改正に関する国民投票の決定に署名し、2/27 に行われた国民投票において、憲法改正案が国民の絶対的多数により支持された旨強調した。

・同大統領は、今次国民投票が主権を有する国の発展の道標の一つとして教科書に載ることになるとした上で、新憲法が、憲法記念日である 3/15 から施行されることになる旨述べた。

(3/3～4 国営ベルタ通信)

### 【治安・軍事】

#### ●ベラルーシから周辺国への不法移民

##### 全般

(1)2月28日～3月6日の動向

・ラトビア国境警備隊は、不法越境を試みた 21 人～34 人を阻止。

・リトアニア内務省国境警備局は、不法越境を試みた 2 人～24 人を阻止。

・ポーランド国境警備局は、不法越境を試みた 7 人～51 人を阻止。また、不法移民及びベラルーシ当局者からポーランド当局に対し、投石等あり。

(2/28～3/6 BPN)

#### ●ウクライナ国防省、同国境付近にベラルーシ軍戦車が集結と発表。

(1)ウクライナ国防省

・ロシアはベラルーシ軍部隊のウクライナ侵入を正当化するため、意図的な挑発を準備中。利用可能な諜報データによれば、現在ベラルーシ・ウクライナ国境に約 300 両のベラルーシの戦車が集結。

・戦車隊は今のところ国境を越えてはおらず、ウクライナ国境から約 30 kmのプレスト州ピンスク・同州イヴァノヴォ・同州ドロギチンを結ぶ線上にて待機中。

・ロシアが、ベラルーシ軍部隊による計画に基づく攻撃を正当化するため、意図的な挑発を実施すると予想される。

(3/1 ウクライナ国防省)

#### ●鉄道封鎖に関する事件の発生

・内務省によれば、2/28 から 3/1 にかけて、モギリョフ州、ゴメリ州。ミンスク州で、鉄道の信号装置の破壊、鉄道路線の封鎖が 3 件記録された。

・3/1～2 の夜中に、ミンスク州ストルブツィで、鉄道路線上で角材に火をつけたとして夫婦が拘束。また 3/2、ミンスク州ジョジノで 35 歳のもう一人の「鉄道パルチザン」が拘束。

・カザケヴィチ内務次官は、鉄道封鎖の呼びかけは「外国にいる逃亡者」によるものと見ている。

(3/2 Zerkalo)

### 【経済】

#### ●中央銀行、3/1 から借り換え金利を 12%に引き上げ。

(2/28 中央銀行、BPN)

#### ●世界銀行グループ、ベラルーシ及びロシアとのすべての共同プログラムへの融資の停止を発表。

(3/2～3 BPN、世界銀行)

●2月、ベラルーシの金・外貨準備高は2億5,920万米ドル減少(3%減)。事前のデータでは、3/1時点の金・外貨準備高は82億6,400万米ドル(相当額)。

(3/4 国立銀行、BPN)

●S&Pがベラルーシの格付を下方修正し、12か月以内にデフォルトの可能性ありと評価

・長期格付をCCC、見通しを「ネガティブ(弱含み)」に、短期格付をCに引き下げ。

・S&Pは、今次制裁がベラルーシ経済に深刻な打撃となり、事態が好転する見込みもないことから、ベラルーシが今後12か月のうちにデフォルトを宣言する可能性ありと評価。

(3/5 Reform.by)

### 【抗議勢力の動き】

●チハノフスカヤ民主勢力代表の活動

(1)反戦運動への呼びかけ(3/1)

・我々、ベラルーシ国民は、ロシアによるウクライナへの軍事行動に対するベラルーシの参加に反対し、ベラルーシ領土内からロシア軍の撤退及び侵攻の停止を要求。

(2)ゼレンスキー・ウクライナ大統領のウクライナ領空閉鎖案を支持(3/5)

・ウクライナ領空閉鎖は、ウクライナ、ベラルーシ及び欧州全体の安全保障の問題。

・ウクライナ領空閉鎖は、毎日、ベラルーシの領土から発射されているロシア軍のミサイル及び航空機を止めることに効果あり。

(3/1~3/6 チハノフスカヤ氏公式ホームページ)

### 【その他】

●3/4 現在のベラルーシ国内での政治犯の数は1,084人。

(3/4 人権団体「ヴァスナ(春)」、BPN)

●ウクライナ侵攻への負担を嫌った軍への入隊拒否の動き

(1)ベラルーシからリトアニアへの男性の大量出国

・リトアニア・メディア Delfi によれば、ミンスクからビリニュスに向かう道路上に位置する国境検問地点「メディニンカイ」では、最近、ベラルーシからの出国希望者の数が増加(そのほとんどが徴兵年齢の男性)、1日あたり200人が同地点を通過。

(2)ベラルーシからの男性の大量出国に関するウクライナ内務省の声明

・デニセンコ・ウクライナ内務大臣補佐官は、同省のYouTubeチャンネルでの声明において、「ウクライナ内務省のデータによれば、現在、ベラルーシ共和国からの男性の大量流出ないし逃亡が始まっている。それら男性たちは、もうすぐ自分たちが軍に召集される可能性があることを恐れて、逃亡を始めている」と述べた。

・同補佐官は、「まさに彼ら(逃亡を図る男性たち)が恐れているからこそ、ベラルーシ軍の士気が大いに低下しているからこそ、ベラルーシの独裁者も恐怖を感じ、我々ウクライナ国家に(ベラルーシ)軍部隊を送り込んでほしくないということを理解している。こうしたこと全ては我々皆の勝利だ」と述べた。

(3/5~6 Zerkalo、BPN)

(了)